

平成 28 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市文化会館(岐阜市文化センター)	所管課	市民参画部 文化芸術課
所在地	岐阜市金町五丁目7番地2		
指定管理者名	一般財団法人 岐阜市公共ホール管理財団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年間)		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☒ 使用料 ☐ 利用料金 ☐ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	333, 102, 857円(平成28年度、岐阜市民会館と合算)		
施設の設置目的	市民の文化及び教養の向上と福祉の増進を図るため。		
施設概要	催し広場1、小劇場1、練習室1、展示室1、会議室2、音楽室1、音楽スタジオ1、録音室1、美術工芸室2、和室2		

●利用状況

		H28 下半期	H28 上半期	H27 下半期	H27 上半期	H26 下半期
利用者数(単位:人)		90,929	84,396	94,133	60,801	97,400
各室稼働状況(%)	催し広場	55.3%	35.6%	43.1%	25.2%	55.3%
	小劇場	69.5%	46.7%	72.3%	46.7%	70.1%
	練習室	77.1%	73.9%	82.7%	94.9%	86.3%
	展示室	62.0%	51.1%	60.1%	49.7%	66.7%
	会議室	91.6%	92.0%	89.9%	89.1%	93.5%
	音楽関係室	97.6%	90.4%	88.6%	93.8%	97.6%
	美術工芸室	97.0%	89.2%	94.7%	88.0%	86.3%
	和室	66.9%	65.3%	74.4%	73.7%	73.8%

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適正に運営されている。 ②施設は職員11人が配置されている。適宜研修を実施しており、各業務を適切に遂行している。 ③年間の広報計画に基づき、広報ぎふやフリーペーパー、さらに有料広告等を活用し、積極的な広報活動を実施している。 ④指定管理者が定めた受付マニュアルに基づき、適切に対応している。
自主事業・提案事業	下記自主事業の実施 ①市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」事業 ②戯曲づくりワークショップ&リーディング発表会 ③子ども伝統文化体験教室・発表会(大正琴)&出前講座 ④音楽のおくりもの ⑤第38回ぎふアジア映画祭 ⑥市民スタッフ事業 ⑦市民プロデュース公演応援プロジェクト(公募) ⑧ぎふ演劇ワークショップ ⑨春風亭小朝独演会 ⑩「楽市JAZZ楽団」出前コンサート ⑪市民スタッフ育成事業	①市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」事業 ・10月9日(日) たるいジャズフェスティバル依頼演奏 ・11月3日(木・祝) シネマジャズLIVE 入場者数 284人 ・12月23日(金・祝) クリスマス・ジャズ講座 入場者数 330人 ・1月15日(日) 第9回ぎふジャズフェスティバル 入場者数 953人 ・2月11日(土) 東海地域東京事務所連携イベント(協力事業) ②戯曲づくりワークショップ&リーディング発表会 ・1月7日(土) 入場者数120人 ③子ども伝統文化体験教室・発表会(大正琴)&出前講座 ・12月13日(火)出前講座(能楽) 岐阜市立三里小学校 109人 ④音楽のおくりもの ・10月22日(土) 入場者数685人 ⑤第38回ぎふアジア映画祭 ・11月5日(土)～12月4日(日) 入場者数 1,856人 ⑥市民スタッフ事業 ・12月17日(土)「風雲児織田信長」&ゲストトーク ・12月18日(日)「風雲児織田信長」&うたごえ広場 実施 入場者数817人 ⑦市民プロデュース公演応援プロジェクト(公募) ・1月29日(日) 第21回審査会実施 ・3月12日(日) 第20回採択事業「琉球國祭り太鼓岐阜西濃支部自主公演「響」in岐阜 入場者数 582人 ⑧ぎふ演劇ワークショップ ・2月18日(土)～19日(日) 一般の部 43人 ・3月18日(土)～19日(日) 中学生の部 270人 ⑨春風亭小朝独演会 ・12月24日(土) 入場者数493人 ⑩「楽市JAZZ楽団」出前コンサート ・10月1日(土)岐阜市立常磐小学校 ・11月11日(金)岐阜市立境川中学校 ・2月12日(日)市立岐阜商業高校プラスバンド部 ⑪市民スタッフ育成事業 ・2月12日(日)出張研修 ウィルあいち(あいち国際女性映画祭) ・3月26日(日)研修 林正子氏
施設管理	①清掃業務 ②守衛業務 ③受付業務 ④建築物環境衛生管理業務 ⑤エレベーター設備保守点検 ⑥各種点検業務	毎日の日報及び実地調査にて履行状況を確認 ①清掃業務 ・日常清掃(開館前清掃、施設使用後の清掃)について計画通り実施 ・定期清掃(ワックスがけ、ガラス清掃、絨毯清掃)について計画通り実施 ②守衛業務 ・定期巡回(午前0時、午前6時、午後7時)、鍵・扉の開施錠業務、照明の点消灯業務、駐車場の管理業務について計画通り実施 ③受付業務 ・毎日午前8時～午後8時までの受付、案内、接遇、電話対応、簡易な事務補助、OA機器操作補助、催し物掲示板整理業務について計画通り実施 ④建築物環境衛生管理業務 ・貯水槽の清掃、水質検査業務、汚水槽・排水槽の点検清掃業務、病害虫等調査・防除業務について計画通り実施 ⑤エレベーター設備保守点検 ・年1回の法定点検を実施。 ⑥各種点検業務 ・実施計画に基づき、順次実施
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	経年劣化等による故障を受け、速やかに修繕を実施した。 ・ガス焚き冷温水発生機冷温水配管冷暖切替バルブ取替修繕 ・第1会議室東側扉ドアクロザー取替修繕 ・冷凍機室排水ポンプ制御用フロートスイッチ取替修繕 ・音楽スタジオ備品の更新 自主点検等による、先を見越した修繕及び、利用者の利便性に繋がる修繕を実施した。 ・小劇場調光操作卓等レギュレータ修繕 ・荷物搬入用スロープ修繕 ・小劇場身障者席用手すり修繕 ・玄関ホールスチール製椅子用カバー修繕

危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市個人情報保護条例及び同施行規則並びに財団規程に基づき、適正に管理運営を行っている。 ②独自の危機管理マニュアルを定め、地震、火災や風水害、事故・事件等について、全ての職員が適切に対応できる体制を整え、来館者の安全を守る意識を高めている。 ③当施設の条例及び施行規則や関係法令を遵守し、適正に運営されている。
-----------	----------------------------------	---

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	・1月10日～2月10日までの施設利用者(団体)110団体に「ご利用者カード」への記入を呼び掛け、99団体からの回答を得た。アンケート質問項目は、「使用会場」「職員の対応」「敏速な対応」「的確な対応」「館内清掃」「備品満足度」「今後も利用したいか」「他施設の候補を考えたか」「利用の決め手」「当施設を以前から知っていたか」「情報媒体」。 ・常時「ご意見箱」とその記入用紙を館内(受付カウンター)に設置。 ・「ご意見受付シート」により、来館者、利用者の意見・要望を把握するよう努めている。
利用者アンケートの実施結果	○ご利用者カード集計結果 回収総数 99枚(回収率90.0%) 「使用会場」 催し広場 2.8%、小劇場 8.3%、練習室 9.3%、展示室 13.0%、会議室 23.1%、音楽室 11.1%、音楽スタジオ 5.6%、録音室 0%、第一美工 15.7%、第二美工 4.6%、和室(舞台付) 0.9%、和室(茶室付) 5.6% 「職員の対応」 非常に良い 61.6%、良い 34.3%、普通 4.0%、悪い 0%、非常に悪い 0%、無記入 0% 「敏速な対応」 非常に良い 58.6%、良い 36.4%、普通 5.1%、悪い 0%、非常に悪い 0%、無記入 0% 「的確な対応」 非常に良い 58.6%、良い 34.3%、普通 7.1%、悪い 0%、非常に悪い 0%、無記入 0% 「館内清掃」 非常に良い 58.6%、良い 31.3%、普通 10.1%、悪い 0%、非常に悪い 0%、無記入 0% 「備品満足度」 非常に良い 50.5%、良い 34.3%、普通 13.1%、悪い 2.0%、非常に悪い 0%、無記入 0% 「今後も利用したいか」 思う 97.0%、思わない 1.0%、無記入 2.0% 「他施設の候補を考えたか」 考えなかった 64.6%、考えた 28.3%(他施設…岐阜市民会館、、じゅうろくプラザ、ハートフルスクエアG、岐阜産業会館、岐阜市青少年会館、ぎふメディアコスモスなど) 無記入 7.1% 「利用の決め手」 使用料金 16.6%、附属設備 4.8%、収容人数 10.4%、交通の便・駐車場 23.7%、利用時間 7.1%、職員の対応 6.6%、知人の紹介 0.5%、岐阜市の施設である 14.7%、利用目的に合う 12.8% その他 2.8% 「当施設を以前から知っていたか」 はい 85.9%、いいえ 8.1%、無記入6.1% 「情報媒体」 広報ぎふ・新聞・雑誌等 16.7%、HP・インターネット 50.0%、知人の紹介・口コミ 33.3%、利用相談会・見学会・営業活動 0%、その他 0% (主な意見) ・10年目に入り利用させていただきありがとうございます。今後とも宜しくお願い申し上げます。 ・いつも毎年、創業祭でお世話になっております。本年も宜しくお願いいたします。 ・20年以上施設を利用させていただいておりますが、最近会員数が減り、会議室から変更して音楽室を利用させていただいておりますが、静かで、暖かくて、居心地が良いです。机がもう1個あると良いです。
利用者からの要望・苦情と対応・改善	利用者から寄せられた意見等に対しては、直接本人に回答するようにしている。窓口対応で利用者と職員が顔の見える関係を築くことが重要と考えているため、アンケート等に記入されていないようなご意見や要望なども、コミュニケーションの中から把握し、「ご意見受付シート」を活用して文化センター全体で共有するようにしている。 (主な意見と対応) ・マイクシールドにガリがあります。ドラムのシンバル交換して下さってありがとうございます。 →音楽スタジオは備品の消耗が激しいため、予備を用意して利用に支障の出ないよう備えている。マイクシールドについては音響担当が確認を行い、修繕を実施した。ドラムのシンバルについては利用者からの要望もあり交換を実施した。 ・備品(スクリーン)をきれいにしてほしい。工事の予定が入っているなら、予約の際教えて欲しい。うるさくて講習会の声が消されるため。 →スクリーンについては職員による修繕を行った。今後も職員による状態確認を定期的に行っていく。 工事予定については予約時には決定していなかった。その後、工事業者とスケジュールを再調整し、利用者への影響を最小限に抑えるよう努めている。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等 利用が確保 されること	文化会館の運営上の基本方針	・岐阜市の芸術文化振興の拠点施設として、住民の平等利用の確保をはじめ、岐阜市の施策に沿った運営を行っているか。	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌、チラシやホームページで広報されているか	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書 の内容が、 対象施設の 効用(設置 目的)を最大 限発揮する ものである こと	芸術文化事業を行っていく上での方針と主な事業計画	・市民の芸術文化への参加・参画の促進、芸術文化の普及・啓発、芸術文化を担う人材の育成、優れた芸術文化の鑑賞機会の提供に積極的に取り組んでいるか	S	S	S
		市民協働を取り組んでいく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、市民との協働に積極的に取り組んでいるか	S	S	S
		貸館業務・管理業務・舞台業務を行っている上での方針と主な事業計画	・岐阜市の芸術文化振興の拠点施設として、芸術文化に関する相談、助言など付加価値のある貸館業務に取り組むとともに、安全な管理業務、舞台業務の運営につとめているか	A	S	S
		既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	・業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	A	S	S
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備等の整備など)	・接遇等の職員研修が実施されているか ・定期的に設備の点検を行い、必要に応じて改善されているか	A	A	A
		区分評価				S
効率性	事業計画書 の内容が、 管理経費の 縮減が図ら れるもので あること	管理経費の縮減について	・管理経費は効率的かつ適切に使用されているか ・省エネ管理マニュアルなどをもとに、光熱水費削減に努めているか ・収支予算と実績とは大きくかい離していないか	A	A	A
		効率的な管理運営を図るための体制について	・職員の人材育成に努め、効果的かつ適切な運営体制であるか ・文化センター及び市民会館をあわせた管理運営を効果的に行っているか	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書 に沿った管 理を安定し て行う物的 能力、人的 能力を有し ていること	必要な人材の配置と職能及び人材育成の方針	・事業を実施するために必要な資格や知識・経験を有する職員を配置しているか ・また業務に必要な研修を実施し、資質の向上に努めているか	S	S	S
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	より良いサービス、活動を提供するために職員が勤務しやすい職場環境ができているか	A	A	A
		リスクへの対応方策(利用者の安全確保、防止策、非常時のマニュアルなど)	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制ができているか。 ・また、個人情報保護等法令順守は適切に行われているか。	S	S	S
		施設管理業務を行っていく上での方針と具体策	・各種機械設備の保守点検、危機管理体制の整備、あるいは安全に十分に留意した管理運営を行っているか。	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書 の内容が、 岐阜市ある いは施設が ある特定の 地域(以下 「地元」とい う。)の振 興、活性化 などに貢献 できるもの であること	地域の社会活動の参加及び地域への貢献に関すること	・定期的に施設周辺の清掃を実施しているか	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	・まちのにぎわいへの地域貢献しているか	S	S	S
		その他地元への貢献に関すること	・利用者以外の市民の問い合わせ等に対応しているか。また地域の芸術文化を通じた地域振興に取り組んでいるか。	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み に対する評価	1. 貸し館業務 平成28年度下半期において、昨年度比で、施設使用料が約550万円増加した。これは催し広場の利用が増えたためであり、各種資格試験会場としての利用や市民会館の大ホール改修工事による代替会場としての利用が多かったことが大きく影響している。また、一般企業による会議室や美術工芸室の利用、バンドや個人の楽器練習による音楽関係室の利用等が増加したことも、施設の稼働に貢献している。一方、小劇場や練習室、和室については、文化団体やサークルによる利用が減少しており、ぎふメディアコスモスやぎふ清流文化プラザといった競合施設の影響が大きいと思われる。これらの施設の利用促進を図るため、下半期には、過去に利用やキャンセルのあった団体等を対象として営業活動を行い、2月20日(月)・21日(火)に利用相談会を実施した結果、2日間で19団体54名が来館された。 2. 施設管理 開館から32年が過ぎ、施設の経年劣化が進んでいる状況である。その中で、下記のような運営努力を行い、施設の安全性及び利便性向上やエコオフィスに取り組んでいる。 ①1階ベンチシート及び地下荷物搬入用スロープなどの適切な修繕を実施した。 ②施設の安全管理に必要な改修工事については、優先順位を決定して、すぐに岐阜市に提案するなど、岐阜市と緊密な連携を取り、施設運営をしている。 ③省エネマニュアルに基づき夏場の冷房温度の設定を管理し、冷房費の節減に努めた。また、電力量のピークを管理するデマンド計を導入しており、電気使用量の適正な管理が可能となり、電気料金の節約に努めた。 3. 市民の劇場・市民ふれあい事業による地域貢献 ①「楽市JAZZ楽団」事業、及び同楽団による「出前コンサート」事業では、地域の学校や催しに赴いて演奏を実施したほか、ジャズフェスティバルのプレ企画としてシネマジャズライブ、クリスマス・ジャズ講座等を実施することで、児童や普段生のジャズ・ポップス演奏に触れることの少ない市民に貴重な機会を提供した。また、第9回ぎふジャズフェスティバルでは雪の中900名を超える集客があり、地域の活性化に貢献することができた。 ②「戯曲づくりワークショップ&リーディング発表会」では、受講生の作品の中から優秀作品を選出し、優秀短編発表会としてリーディング形式で発表会を開催した。当日は120名の来場があったが、アンケートの満足度も90%を超えるなど好評を得ることができ、岐阜の演劇文化の発展に貢献することができた。 ③「子ども伝統文化体験教室」では市内小学校へ能楽出前講座を実施し、約100名の児童に普段触れる機会の少ない伝統文化を体験する機会を提供した。 ④「第38回ぎふアジア映画祭」では、岐阜駅に隣接するハートフルスクエアGにてポスター展を開催し、岐阜市文化センター、岐阜市民会館に加えて柳ヶ瀬のCINEXでも上映を実施するなど、岐阜のまちの賑わいづくりに貢献した。 ⑤「ぎふ演劇ワークショップ」では、2月には一般の部が開催され、名古屋で活躍する劇作家から朗読劇を通して台詞の読み方から演者としての心構えまで指導が行われた。また、3月に行われた中学生の部では、地元で活躍する劇団員から演劇の基礎を学ぶとともに、県内5つの中学校による発表会が行われ、夏の大会に向けた全体的なレベルアップに繋がった。 ⑥「市民スタッフ事業」では、織田信長公岐阜入城・岐阜命名450年イベントとして、「織田信長公」をキーワードに企画立案し、「風雲児織田信長」の上映の実施、特別企画では、初日に「香川京子」さんのゲストトーク、2日目には例年人気の「うたごえ広場」を実施した。また、市民スタッフとともに「織田信長公」ゆかりの地を取材し、付加価値の高い映像を上映することができた。 ⑦市民プロデュース公演応援プロジェクトでは、第21回の審査会を実施し、2団体採択となった。採択された事業がオペラの団体2団体だったので、お互い「オペラウィーク2017」といった冠を付け、チケット割引の協力を実施し、公演に向けて両団体が協力できるよう事務局として丁寧に対応した。また、第20回採択事業「琉球国祭り太鼓」が3月に実施され、公演や広報活動のサポートの成果もあってほぼ満席となった。これを機に自力で主催公演を継続されることを期待したい。 ⑧「市民スタッフ育成事業」では、ぎふアジア映画祭の映画選定、特別企画の立案の参考になればとの思いで、他地域の先進事例を研修するために「あいち国際女性映画祭」事務局を訪問した。また「市民スタッフ事業」の企画のヒントを得ようと「岐阜」にゆかりの文学者について研究している地元大学の教授を講師として招いて講義をしてもらった。
前回までの意見を 踏まえた取組み状況	1. 取組み状況 上半期には催し広場の稼働率向上についてご評価いただいた。下半期も引き続き利用促進に取り組んでおり、施設全体の稼働率は向上傾向にある。ご意見をいただいた練習室についても稼働率向上に取り組んでいるが、競合施設の影響が大きく継続利用いただける新規団体の獲得には至っていない。しかしながら、その他の施設については、休眠団体の掘り起こしや一般企業等への地道な営業活動の効果もあり、稼働率は良好な状態にある。 2. 貸し館業務・施設管理 これまでも評価いただいたように、年2回実施する利用者アンケートではいずれの項目にしても「非常に良い」「良い」の回答を多くいただいているが、アンケート満足度の高さに甘んじることなく、常に利用者からのご意見を取り上げていきたい。また、施設の修繕や安全管理に関しては、事故等なく施設運営を行っている。地震や火災などを想定した総合防災訓練を年2回実施しているが、休日や夜間帯の少数勤務体制を想定したより実践的な避難訓練に取り組み、防災危機意識を高めている。 3. 市民の劇場・市民ふれあい事業 上半期には「フォレストコンサートin岐阜」について利用者のニーズを反映した企画としてご評価いただいた。下半期に実施した事業についても、0歳からのコンサートとして「音楽のおくりもの」を実施することで親子でクラシックに親しむ機会を提供し、午前の部についてはほぼ完売という結果をだすことができた。また、「春風亭小朝独演会」についても落語という市民のニーズと合致する事業を実施したことで、チケットは完売となった。その他事業についても市民ボランティアが企画から参加する「市民スタッフ事業」、「ぎふアジア映画祭」を実施して多くの市民に文化芸術に触れる機会を提供することができた。市民参画創造型事業である「楽市JAZZ楽団」事業においても、積極的に地域の学校やイベントの出演依頼を受けることで、地域の文化振興に貢献している。

今後の取組み	1. 貸し館業務 ①上半期に引き続き下半期も催し広場の利用が増加したことに伴い、施設全体としての利用料は増加となった。他施設の代替会場としての利用も少なかったため、来年度はその反動も予想されるが、その他の新規団体については利用後のフォローや来年度の予定確認等を徹底することで、利用の定着を図っていきたい。小劇場や練習室、和室については競合施設との厳しい競争環境に置かれているため、文化団体だけでなく一般企業等にも営業活動を行い、利用状況の改善を進めて行く。 2. 施設管理 ①経年劣化に伴う故障、異常を念頭に置き、こまめな日常点検を実施し、速やかな修繕対応、岐阜市への工事要望を実施する。 ②気候の急な変動など冷暖房需要が高まった場合や燃料費の高騰などにも対応できるように、省エネマニュアルに沿って、光熱水料費の節約に努めるように取り組んでいく。 3. 市民の劇場・市民ふれあい事業 ①「楽市JAZZ楽団」では、4月に団員追加募集を実施する。学校への出前コンサートの企画・実施や、第10回ぎふジャズフェスティバルに向けて準備を進めていく。 ②「初心者のためのダンスワークショップ」では、バレエのワークショップ参加者を募集する。7月にワークショップの実施に向けて取り組む。 ③「子ども伝統文化体験教室・発表会（和太鼓）」の参加者を募集する。8月に練習を実施し、発表会に向けて取り組む。 ④「松竹大歌舞伎」は6月のチケット発売に向けて広報活動を充実し、9月の公演実施に向けて準備を進めていく。 ⑤「音楽の絵本 JIVE」は6月のチケット発売に向けてのPR活動と、9月の公演実施に向けて準備を進めていく。 ⑥「第39回ぎふアジア映画祭」では、10月からの開催に向けて、市民スタッフとともに会議を実施し、選定作品・企画を練っていく。 ⑦「市民スタッフ事業」では、月2回の企画会議を実施し、市民スタッフと一緒に企画を練り上げていく。 ⑧「市民プロデュース公演応援プロジェクト〈公募〉」では、5月から企画を募集し、7月に審査会を実施する。また、7月公演の2件の採択事業のPR協力、当日実施に向けての支援をしていく。 ⑨「ぎふ演劇ワークショップ」では、5月に高校生の部を開催する。 ⑩「岐阜市中学校美術作品展」では、4月から1か月単位で市内中学校2校による共同展示を開催する。 ⑪「高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト」は6月のチケット発売に向けてのPR活動と、9月の公演実施に向けて準備を進めていく。 ⑫「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業では、中高生を対象とする「夏休み体験教室」を8月に開催する。 ⑬「戯曲セミナー」の講座を7月から月2回ペースで実施する。 ⑭「春風亭昇太独演会」については、4月にチケット発売を行い、7月の実施に向けて準備を進めていく。 ⑮「市民スタッフ育成事業」では、市民スタッフの活動に役立つ、外部研修や出張研修の実施準備を進めていく。
---------------	--

●所管課の意見

適切な人員配置及び業務委託により、安全に十分留意した管理運営が行われている。

開館30年を超える文化センターにおいて、日頃から細かなところも含め点検等を行うことで異常を早期発見することができ、軽微な修繕で済むことで、施設運営にも影響なく、事故なく施設運営が行えていることは、評価できる。

稼働率は高齢化などによる継続利用者の活動休止などが多数ある中、会議室や美術工芸室などが90%を超える高い稼働率を獲得できていることは営業努力の表われであり評価できる。岐阜商工会議所の耐震工事終了後に移動しないように各団体の利用の定着につなげることを期待する。

各事業においては、新たなチャレンジとして楽市JAZZ楽団事業では、既存の「こーもらんつ23」に所属する20歳以下を中心に構成した「こーもらんつU-20」の立ち上げや「シネマジャズ」として「ぎふアジア映画祭」と協力することでお互いの事業を盛り上げるなど既存の事業においても新たな試みを行うなど次世代の育成や横断的な事業展開を実施することでジャズに普段触れることの少ない人たちにも、聞く機会を提供するなど文化芸術の振興に寄与している。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・施設の安全な管理がしっかりとされている。
- ・利用者のニーズを反映した企画を実施する中で、若手層や子どもたちの集客に力を入れるなど、次世代の育成といった取り組みは大事である。
- ・市民からのニーズがあり、「落語」など人気があるものは、チケットが完売するなど非常に好評である。引き続き期待している。
- ・モニタリングの開催に関し年1回とすることについて、引き続き市は制度の改善を検討されたい。